

大規模な牧野造成

スイス型酪農方式の採用

農林省、本年度から推進

農林省は、畜産振興のキメ手となる飼料資源を開発するため、本年度から大がかりな牧野の造成に乗り出す方針を固めた。この開発事業は、河野農相の指示にもとづくもので、昭和三十七年度予算政府案の農業基盤整備費五七二億円の内、畜産草地改良事業費を前年より四億円増の九億円の事業費、補助費を織り込み、今後農業基盤整備事業の一つとして積極的に取り組む態度をとっている。

一方、これまで、ふすま、とうもろこし等の輸入濃厚飼料の依存度の高いわが国酪農に飼料面の制約を取り除く手段として、格安なマイロ（こうりゃん）の輸入を進めると共に、マイロの使用を呼びかけることに、更に、酪農には牧草が絶対不可欠の要素なので、新しく牧草地を造成し、従来の草を刈ってきて食べさせるという採草型酪農方式から、スイスなどに見られる放牧型酪農に切り替えようというわけである。

河野農相も「本年度からの農政の重点施策の一つとして山林開発による計画的な畜産、造林、果樹栽培を振興するため、山の政治を強力に進める」との意向を明らかにしている。農林省が本年度に予定してい

る牧草地造成計画と今後の方向について見ると、すでに草地改良事業実施調査が終わった富士山ろく（六五〇〇）、早池峰（二五二〇）、美作（七二六〇）、阿蘇山ろく小国地区（五二二〇）を三五年計画で実施し、また北海道を中心とした湿原地の改良、大規模草地改良地区として十勝中部、釧路内陸、天北西部、十和田、那須、中信高原、茨北、大山、富士北部、八ヶ岳など一五地区を指定、調査実施する方針である。

またこれらの事業と歩調を合わせ、スイス式の放牧型酪農を積極的に取り入れるよう、奨励し、牧草の改良、わが国に適した優良品種の育成、更に草地改良用の優良牧草についての指導、斡旋、などに力を入れることになり、わが国酪農形態がここに大きく脱皮し、山への酪農と切り替わったわけである。（日本経済新聞より抜粋）

山へ上る酪農、即ち放牧酪農への脱皮を急ぐ方々の参考（編集部）

一 放牧地の草地造成にはどんな牧草が利用されるか

気候、土質等によって勿論異なってくるが、草の生態から適牧草を挙げてみますと、

白クローバー（ラデノクローバー、
（ニュージブラントホ
ワイトクローバー等）

バーズフットトレフオイル

ケンタッキープリニューグラス

ペレニアルライグラス

コンモンライグラス

H・Iライグラス

シープフェスク

レッドフェスク

メドウフェスク

チモシーS（四八
オーチャードS（一四三

等が主なものでしょう。そしてこれらは数種類の混播が必要で、播種量も一般刈草地よりも密播されるのが通常です。アルプ酪農で著名なスイスでは一〇種内外の混播で一〇割当たり五割播種が普通とされているようです。

スイス山岳放牧地の混播例（ヘクタール当たりキロ）

（高度一、三〇〇〜一、八〇〇米）

土 性	乾 燥			乾 燥 土 更 新 地			乾 燥 土 更 新 地		
	赤クローバー	アルサイバク	クロイバク	赤クローバー	アルサイバク	クロイバク	赤クローバー	アルサイバク	クロイバク
赤クローバー	四〇	一五	二〇	四〇	一五	二〇	四〇	一五	二〇
アルサイバク	一五	二〇	二五	一五	二〇	二五	一五	二〇	二五
クロイバク	二〇	二五	三〇	二〇	二五	三〇	二〇	二五	三〇
トレフオイル	二五	三〇	三五	二五	三〇	三五	二五	三〇	三五
オーチャード	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇
チモシー	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇
メドウフェスク	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇
グレイズ	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇
レッドトッパ	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇
ケンタッキ	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇
プリニューグラス	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇
レッドフェスク	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇
クロイバク	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇
ドッグステール	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇	三〇	三五	四〇

教材講習会用

飼料作物カラーズライド

目で見える牧草、飼料作物、目で学ぶ飼料作りや利用の仕方などのカラーズライド（天然色幻燈写真）ができました。

1 飼料作物基礎編 一組（三〇枚）

（各編共送料込）二、〇〇〇円

畑地輪作、根留菌、草生栽培、傾斜地への牧草導入、笹地、牧野改良、水田裏作、畦畔、各種飼料作物の種類、適地適作（土壌別）等々。

2 牧草、飼料作物の種類、品種編 一組（三〇枚）二、〇〇〇円

各種優良牧草、青刈類、根果葉菜類の種類と品種解説。

3 牧草、飼料作物の栽培編 一組（三〇枚）二、〇〇〇円

土壌処理（石灰、堆肥散布）、深耕、デスキング、播種、覆土等）

各種混播例（青刈用、エンシレージ用）根果葉菜類の薬剤散布、間作等々。

4 牧草、飼料作物の利用貯蔵編 一組（三〇枚）二、〇〇〇円

放牧、青刈、乾草の作り方、エンシレージの調整、トレンチサイロの作り方、ビートの貯蔵の仕方等々。

●各編毎に分り易い解説書が付いておきます。

●飼料作物啓蒙のため、とくにサービ

ス価格となっております。

●申込後一カ月以内に発送いたします。

（春季特集号に掲載したカラーズライドについて、説明不備の点から、各所より問合わせがあり、大変御迷惑をお掛けいたしました。深く御詫言申しま